

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あそび王国南輝事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30 (回答者数)	28
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々の子どもに寄り添った支援、プログラム運営を行っている。	・更新時質問シートや太田ステージ等の評価法の結果を共有しながら、職員会議で目標の立案や具体的な支援内容の設定を行っている。	・より多角的な評価スケールの導入を検討する。
2	・小集団活動の時間を設定し、お友達や職員とコミュニケーションをとることで、集団生活のルールや社会性を学ぶことが出来る。	・発達段階や学年を考慮したグループ分けを行い、一人ひとりの個性を活かせるグループ作りを行っている。 ・活動ごとにグループでの目標を設定し、スモールステップで取り組める環境設定を行っている。	・ソーシャルスキルに重点を置いた、支援内容の充実化。
3	・公共施設や工場見学などの課外活動を通じた、多様な学習機会の提供。	・遊びや活動を通して沢山の経験を積み重ね、豊かな社会体験と充実した成功体験を提供出来る機会の設定。 ・お友達や職員と一緒にルールやマナーについて考え、思いやりのある行動、公共の場におけるマナーを実践する機会の提供。	・公共交通機関を利用した活動プログラムの創作、立案。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・子どもが思いっきり走ったり、ボールを投げたり出来る運動専用のスペースがない。	・子どもの学習スペースや、プログラムの活動スペースを確保すると運動専用の場所を設定することが困難。	・近隣の公園で運動あそびを行う。 ・イベントスケジュールに体育館での運動の日を設定する。
2	・地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・児童館やふれあいセンターなど地域の他の子どもと活動する機会を提供しているが、その場限りで継続的な関わりが困難。	・近隣のイベントスケジュールや、児童館などで行われる行事を把握して、適切な行事に継続して参加することが出来るようになる。
3	・保護者同士の交流の機会が少ない。	・コロナ禍以降、大勢で集まって交流する機会が減っていた。	・感染症対策を行いながら、保護者同士の交流の機会を設定したり、家族も参加出来る研修会や情報提供の機会を検討していく。